

有限会社ドリーミング ヘアサロン「ピースイート」× 社会福祉法人 東京恵明学園



ヘアサロン「ピースイート」店長の川嶋一義さんと理容師の皆さんは、平成3年4月より社会福祉法人東京恵明学園・東京恵明学園児童部の子どもたちのために年に4~6回来られ、散髪ボランティアとして活動して下さいました。その活動は現在も続いており、25年以上携って頂いております。仕事を終えて夜の8時になると同じ職場の理容師の方々10数人が学園へ足を運び、子どもたちのために散髪の時間を作ってくださっています。

理容室の仕事は一日を通してとても忙しく、限られた時間の中で一人ひとりの要望に答え、髪型だけでなく気持ちも綺麗にリフレッシュしてくれる、とても魅力的な仕事であると同時に、それだけ体力や技術も必要な仕事であると思います。忙しく一日の仕事をやり遂げた後、学園に足を運び、50名の子どもたちの散髪をしてくださっていること、学園に来た皆さんがいつも笑顔で明るく挨拶をしてくださる姿に大変感謝しています。

学園には、理容室専用の道具や鏡、椅子などが人数分揃えられていませんが、広いスペースを利用し、学習机などを使いながら、なんとか工夫して環境作りをしています。このような環境の中でも理容師の皆さんは、子どもたち一人ひとりに対して丁寧に、かつ、手際良く散髪をしてくださっています。ほんの数時間で学園の子どもたち50名の散髪をスムーズにこなすために、リーダーの川嶋さんは、全体の動きに目を配りながら、理容師の方々に的確な指示を出し、子どもたちが長い時間待つことがないように配慮しています。

子どもたちの中には幼児も多く、小さい子どもたちを相手に散髪をすることはとても大変なことだと思います。少し緊張した様子でいる子ども髪を切り終わる頃には笑顔になり「ありがとう」と照れながら感謝の気持ちを伝えています。年齢の小さな子どもでも髪を切った自分の姿を鏡で見ると、とても嬉しそうにしながら髪を触っています。髪を切ることは身なりを整えることの一つです、新品の洋服に着替えた時のように綺麗に散髪することで見た目だけではなく、子どもたちの心もリフレッシュし、良い気持ちにさせてくれます。中には気持ちが落ち込んでいた子が髪を切り、綺麗になった姿を見て気持ちを切り替え『また明日から頑張ろう』と思えるきっかけになっています。



中高生ともなると髪を切るだけでなく、理容師の方々との会話を楽しむ子もいます。流行の髪型をお願いしたり、悩み事を話したり、子どもたち一人ひとりが散髪の時間を有意義に過ごしています。園の職員とは違う立場で子どもたちに関わっていただく中で、社会との繋がりを身近に感じる良い機会にもなっています。中には、理容師との交流から将来の自分の進路として理髪や美容を目指したいと志を持つ子どももおり、良い刺激となっています。実際に理容師になって活躍している卒園生もいます。

夜遅くまで学園で散髪ボランティアをしてくださっている皆さんは体がとても疲れているはずなのに、いつも笑顔で子どもたちの話を聞き、要望に答えています。川嶋さんと理容師の方々の優しさボランティア貢献への意欲に感謝しています。理容室に行くことは多くの手間や料金がかかります、学園の子どもたち50名ともなると気軽に理容室へ行くことはとても簡単なことではありません。時間をかけ足を運び子どもたちのために散髪

をしてくださるピースイートの皆さんと川嶋さんの友人の、中神にあるヘアサロン綺麗(きれい)の皆さんは、学園の子どもたちにとって大切な存在であり、今後もこの繋がりと支援を続けていただけたらと願っています。

第2回企業ボランティア・アワード受賞

(2017年3月1日)